

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (令和元年度第3回)

日時：令和元年11月8日（金）9時30分～11時00分
場所：鳥取県庁議会棟3階 特別会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

- (1) 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について
(資料1：第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について)
(資料2：企画推進会議委員の御意見等)
(資料3：アンケート結果（来場者・引率・生徒）)
- (2) 第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催について
(資料4：基本計画（素案）)
(資料5：司会者・審査員・ゲストの選出方針（案）)

4 その他

- (1) 今後の日程について
(資料6：全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について)
- (2) その他

5 閉 会

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿
(令和元年度第3回)

役 職	所属・役職名	氏名(敬称略)	出 欠 (代理:敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長兼ささえあい福祉局長	宮本 則明	出
委 員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	出
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航	出
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	出
	鳥取県教育委員会 教育次長	足羽 英樹	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	御船 齋紀	欠
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長 (鳥取敬愛高等学校 教諭)	二階堂 茂夫 (高垣まゆみ)	出 (代理)
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	出
事務局	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課長	谷 俊輔	/
	事務局長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室長)	太田 次郎	
	事務局次長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 課長補佐)	北川 泰子	
	事務局員(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 係長)	大森 宏治	
	事務局員(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 非常勤)	河内 大樹	

※オブザーバー出席:企画運營業務受託者 株式会社m&m. CO

※手話通訳者:鳥取県聴覚障害者協会



第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について

【成果ポイント】

- 大会への参加により、高校生世代の手話言語への理解・関心が着実に拡大。
- 佳子内親王殿下の御臨席をはじめ、多くの方に御来場いただくとともに、新聞・テレビ報道等により、大会開催と手話言語への理解等について、県内外に広く発信。
- 特別支援学校とその他学校との合同チーム出場や聴覚障害者協会等による生徒への手話指導など、大会参加を通じて、聞こえる人と聞こえない人との交流が拡大。
- 大会当日のみならず、大会後に出場チームが地元イベント等で演技を披露するなど、全国各地に手話パフォーマンスの輪と手話への理解・関心が拡大。
- 演技司会や運営ボランティア等に多くの地元高校生が携わり、高校生による大会づくりが進展。

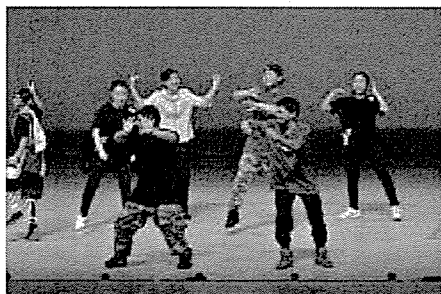
1 大会の概要

- (1) 開催日時 令和元年9月29日(日) 午前9時30分から午後4時まで
- (2) 開催場所 とりぎん文化会館 梨花ホール(鳥取市尚徳町101番地5)
- (3) 演技内容 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、コントなどのパフォーマンス
- (4) 出場チーム 予選通過15チーム(19校) ※うち田園調布学園高等部が欠場(14チームが演技)
- (5) 来場者数 約2,000人
- (6) 大会結果

表彰内容	チーム名	演技区分	演技タイトル	得点
優勝	まわし 真和志高等学校(沖縄県)	ダンス・演劇	ラップ THE オキナワ	273点
準優勝	奈良県立ろう学校(奈良県)	演劇	ユールネバーウォークアローン	266点
第3位	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園(埼玉県)	演劇、ポエム、コント	手話は命 ～ろう者の星と聴者の星～	264点
審査員特別賞	たつるはま 田鶴浜高等学校(石川県)	歌唱・演劇	全てを笑顔で守りたい	—
全日本ろうあ連盟賞	聖心学園中等教育学校(奈良県)	ダンス	This Is Me ～すべての人へ～	—
日本財団賞	米子東高等学校(鳥取県)	ダンス・演劇	結び ～HANDSIGN～	—
鳥取県聴覚障害者協会賞	熊本聾学校(熊本県)	演劇	レッツスポーツ 世界は一つ!	—

※上記以外の本大会出場チームに、手話パフォーマンス奨励賞を授与

《優勝：真和志高等学校》



《準優勝：奈良県立ろう学校》



《第3位：坂戸ろう学園》

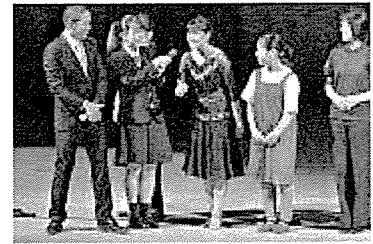


《日本財団賞：米子東高等学校》



(7) 出演者等

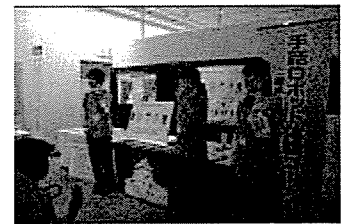
内容	氏名(敬称略)	所属等
総合司会	原田 裕和	NHK鳥取放送局チーフアナウンサー
演技司会	早瀬 憲太郎	学習塾「早瀬道場」塾長
	河口 真里奈	鳥取敬愛高等学校3年
審査員長	庄崎 隆志	演出家・俳優
審査員	小中 栄一	全日本ろうあ連盟副理事長
	廣川 麻子	NPO 法人 TA-net 理事長
	門 秀彦	絵かき
	野上 まり	福岡ろう劇団博多
	塩野谷 斉	鳥取大学地域学部教授
ゲスト	劇団あしたの会	ろう者と聴者が共に楽しめる演劇を制作



演技司会の早瀬氏と河口さん

(8) 会場内の催し

- あいサポート・マルシェ(障がい福祉サービス事業所の飲食等販売)
- 鳥取聾学校写真作品展
- 県内高校生による実習製品等の販売コーナー
- 県内高校生による郷土芸能ステージ(しゃんしゃん傘踊り)
- 手話ロボット体験コーナー(追手門学院大手前中・高等学校)
- 手話パフォーマンス甲子園カフェ
- 手話パフォーマンス甲子園弁当、公式グッズの販売など



手話ロボット体験コーナー

2 佳子内親王殿下の御臨席

佳子内親王殿下の御臨席を賜り、開会式では、手話の普及に向けた取組に係る関係者の尽力への敬意、これまでも大会に出席するたびに高校生の熱意溢れる舞台に深い感銘を受けられてきたことなどのおことばを賜った。また、全出場チームの演技を御覧いただいたほか、大会前日の交流会にも御臨席を賜り、出場チームの代表生徒と御歓談いただいた。



開会式でのおことば

3 その他

- ・大会の様子を公式動画チャンネル(You Tube)にて、当日ライブ配信。
- ・障がいのある方などを対象にホール内前方にハートフル席を設置。
- ・情報保障として、手話通訳、要約筆記、音声ガイドを提供。
- ・大会全日に出場チーム、来賓・関係者等が出席する交流会を開催。



【大会成果】

(1) 高校生世代の手話言語への理解・関心の拡大

○第1回大会から第6回大会まで36都道府県から延べ335校(延べ約2,860人)が参加

区分	第1回大会	第2回大会	第3回大会	第4回大会	第5回大会	第6回大会
参加申込チーム数(学校数)	41チーム(41)	47チーム(50)	61チーム(65)	54チーム(55)	62チーム(65)	57チーム(59)
都道府県数	21都道府県	22都道府県	30都道府県	27都道府県	28都道府県	25都道府県
参加生徒数	365名	386名	536名	487名	559名	529名

(2) 県内外に大会や手話について情報発信

- 大会に県内外から多数の来場をいただき、幅広い世代に手話言語への理解が進展
- 全国・地方のメディアに取り上げられ、大会認知と手話言語への理解が拡大
県内各新聞、各出場校の地元新聞、キー局テレビ(ZIP!、めざましテレビ等)、NHK(Eテレ)「ろうを生きる難聴を生きる」など

(3) きこえない人ときこえる人との交流の拡大

- 特別支援学校との合同チーム参加により、大会を通じて、障がいを超えた高校生同士の交流が拡大
立川ろう学校・大泉桜高等学校(東京都)、広島南特別支援学校・トノリ清流高等学校(広島県)、済美高等学校・松山聾学校(愛媛県)
- 大会参加を契機に、高校生と各種団体等との新たな交流が生まれている
聴覚障がい者協会や手話サークル等による高校生への手話指導等

(4) 大会以降も手話パフォーマンスの輪が拡大

- 大会後に出場チームが地元イベント等で手話パフォーマンスを披露する等、各地で手話への理解が進展

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園についての企画推進会議委員 御意見等

【良かった点】

区分	良かった点
1 交流会	高校生同士の交流を第一に、構成し直したプログラム カード交換が良かった
2 交流会	引率教員同士の交流も若干見られた
3 交流会	高校生の交流はとても良かった。交流カードの効果が高かったと思います。
4 交流会	高校生同志が交流カードを交換しあったり盛り上がって、すごくよかった。来年も続けてほしい。
5 交流会	交流会内容が良く、高校生としては楽しめたのではないかな
6 交流会	交流会の高校生同士で交流時間を設けたのは良かった。
7 交流会	生徒同士の交流時間を設けたのは良かった。
8 交流会	生徒だけの交流の時間を作ったのは大変良かった。 集合写真もうれしかったのではと思う。
9 交流会	交流カードを使って、生徒同士の交流は楽しそうだった。まだまだ話したそうだった。いつもより交流が深まったように思う。
10 交流会	名刺の交換を交流のきっかけとする取組はよいと思います。
11 交流会	各学校の紹介PRがあり、親近感が持てた
12 交流会	高校生の好む食事内容であったこと。マグロの解体ショーは多くの生徒が興味を示していた。
13 本大会	出場チーム数がちょうどよく運営面でも負担が減少した模様
14 本大会	演技司会の動き方が良かった
15 本大会	成績発表の演出が良かった
16 本大会	演技司会の河口さんは、堂々して司会の務めを果たした。素晴らしい。
17 本大会	高校生ボランティアは好評だった。演技司会、アテンド等。
18 本大会	高校生の司会は、大変良かった。続けるべきだと思う。
19 本大会	高校生応援サポーターがPRする時に自分で手話をするのは良かった。 来年は、一部だけではなく全編出来るように早くから指導したらよいと思う。
20 本大会	地元の高校生が司会を務めたことが良かった。手話の先進県として良いアピールにもなった。
21 本大会	高校生の司会で、明るく元気な雰囲気があり、早瀬さんとの掛け合いもよかった。ボランティア、司会など高校生でできることがあれば、来年もお願いしたい。
22 本大会	演技後のインタビューを手話を使って答えていた。手話で答えようという意識が高まっているように感じた。
23 本大会	スマートグラスの試みは良かった。
24 本大会	高校生の司会者はとても良かった。パフォーマンスだけでなく、司会者を高校生にすることで、司会者への期待も大きくなる。これまでで一番良い司会進行だと感じた。
25 本大会	20チームから15チームに減ったことは、審査員の負担軽減、パフォーマンスの全体進行に余裕が生まれるのでちょうど良かった。
26 本大会	様々な配慮がなされていた。全てがとても素晴らしかった。
27 その他	販売物のバラエティが良くて楽しかった
28 その他	素晴らしい体験の機会を与えていただき、関わることでできた生徒にとって本当に素晴らしい経験になったと感謝しています。

区分	細区分	改善点	対応(案)	
1	本大会	演技司会	演技後の質問が一問一答のような感じがした。答えに対してあと一言あると話がつながっているような気がする。	進行時間を考慮しながら次回の演技司会者等と調整したい。
2	本大会	総合司会	NHKアナウンサーを第1回から起用している。次回第7回は、高校生を起用してはどうか。今回第6回演技司会で高校生を起用し、その効果はあった。他の班でも高校生を起用した。高校生による、高校生のための手話パフォーマンス甲子園の色合いを徐々に強くしていく事は効果がある。	総合司会は、台本の読み上げだけでなく、当日進行の臨機応変な対応が求められるため、高校生の起用は慎重な検討が必要。
3	本大会	手話スタッフ	全通研、手話サークルの組織を通じて手話スタッフ(ボランティア)を募集しているが、応募する人が年々減少している。第7回大会については、所属を限定せず公募をしていきたい。そのメリットは、団体(組織)に属していない人が応募してきて、層が広がると思われる。なお、資格等は配置の参考となるので、次回も記入する。	手話スタッフボランティアの確保に引き続き御協力をお願いしたい。
4	本大会	高校生ボランティア	高校生ボランティアの生徒が受付を担当するなどして、沢山のお客様に見てもらってはどうか。	今回は、来賓・ハートフル受付に高校生ボランティアを配置。応募人数等によるが次回は総合案内への配置も検討したい。
5	本大会	来賓	撮影禁止だったのに、来賓席でスマホで写真を撮っていた人があったらしい。来賓とはいえ、徹底するべきだ。	事前案内文や当日の司会アナウンスで周知していたが、禁止事項についてさらに丁寧に案内していきたい。
6	本大会	来賓	来賓席がいい場所にあるにもかかわらず、途中で退席され、空気が多い。事前に途中退席される場合は、後ろの席にしておき、午後からは名札を外すなどの対応はどうか。	途中退席される御来賓席の配置が可能かも含めて検討したい。
7	本大会	表彰式	優勝、2位、3位の具体的な点数の発表(画面・パネルなどで)	ステージモニターは表彰の様子を映しており、映像機器の状況や点数を表示するタイミングがあるか等、実施可能か検討したい。
8	本大会	表彰式	審査委員長の話の位置付けについて要検討。(今年は特に長く、審査員長に話していただきたいことを項目で示すなり工夫が必要と思います。)	審査員長講評が長くないよう事前に調整したい。
9	本大会	表彰式	優勝発表の後、参加賞を渡すのはタイミング的にどうか。参加賞はなくても良いと思います。	手話パフォーマンス奨励賞は、本大会出場チーム選出とその演技を讃える「特別賞」として設定したもの。
10	本大会	表彰式	時間の関係で結果発表を待たずに帰った高校があったが、入賞された場合、どうするのか？	同様の事例が発生した場合、入賞チームの発表のみを行い対応したい。
11	本大会	表彰式	舞台の下手側の半分に審査員が並び、上手側半分に生徒が並んでいた。 もう少し生徒が並ぶ部分を広く取れないか。昨年度までは20チーム、第6回の今年は14チームであり、人数は少なくなっている。 聾学校の参加が多く、情報保障を十分受けられるようにするためにも、並び方を工夫したほうが良い。 情報保障(上手の台の上で通訳が見られる)が従来どおりであるから、これでよしとせず、よりよい情報保障を検討すべきである。 例えば、並びに高低差をつけることによって、通訳が見やすくなる。 交流会報道機関の台を参考にできないか。 設営時間との関係で座ることは可能か検討してはどうか。	表彰式のステージの配置については、設営時間等の問題もあるが、よりよい表彰式運営となるよう検討したい。
12	本大会	情報保障	演技司会の動き方が良かったが、その分早瀬さんの負担が増加している模様。負担軽減については情報保障面で提案	次回の聞こえない演技司会者等と調整したい
13	本大会	情報保障	聞こえない演技司会者の読取り通訳者は演技司会者が指名すべき(同行もあり)。そうしないと演技司会者がアドリブを出せない。	次回の聞こえない演技司会者等と調整したい。
14	本大会	情報保障	カメラの違いによって字幕の行数や出方が違うので改善を。	次回は設営時に十分な確認を行い対応したい。
15	本大会	情報保障	佳子内親王殿下の「おことば」時に、要約筆記の映像が1行になっているとクレームあり。このような事態にならないように改善すべき。	次回は設営時に十分な確認を行い対応したい。
16	本大会	情報保障	字幕の表示が一行の時と三～四行の時ではばらつきがある。特に一行の時はすぐに流れてしまう時があった。	次回は設営時に十分な確認を行い対応したい。
17	本大会	情報保障	字幕が少し見えづらかったかなと思う	次回は設営時に十分な確認を行い対応したい。
18	本大会	情報保障	スマートグラスがサングラス並みに暗く、字幕と舞台の遠近感が違うためとても見辛い。午後からのスマートグラス利用者が減った。チャレンジは良かったが、情報保障はしっかりしているので、お金がかかるならスマートグラスは今後使用しなくても良いと思います。	御意見を踏まえて検討したい。

区分	細区分	改善点	対応(案)	
19	本大会	舞台集音機器、数字が出る機器	設置場所は適当だったか。演技後インタビューに移動の時に、足を引っ掛ける生徒がいた。	次回インタビューの誘導時に注意するよう促したい。
20	本大会	その他	ステージ上に舞台監督が出てくる場面があった。以前もあったがなぜそばにいる生徒に指示しないのか？あれは絶対にやめてほしい。	状況によっては舞台監督が出ての対応が必要な場面もあるかもしれないが、なるべく出ないよう働きかけたい。
21	本大会	公式グッズ	公式グッズに出演学校名の入ったタオルを作ってもらって良かったが数が少ない。種類も増やしても良いと思う。	売れ残りがないように注意しながら、可能な範囲で数量や種類を検討したい。
22	本大会	手話カフェ	前回まで手話カフェSignに依頼していたのだから、連絡をして事情を説明するべきだった。スナバ珈琲と一緒に出来る方法もあったのでは。手話カフェSignは連絡を待っていたらしい。	企画提案により、すなば珈琲による手話パフォーマンス甲子園カフェのみの実施となったもの。
23	本大会	手話カフェ	手話パフオカフェとしてすなば珈琲に入ってもらったが、手話カフェになっていたのか？	高校生ボランティアにメニュー等の手話を覚えていただき、対応した。(昼休憩の繁忙時間は手話でのコミュニケーションを取る余裕がなかった模様)
24	本大会	審査基準	審査基準の見直しが必要ではないか 具体的には、「手話の正確性」の得点配分を上げる。 ろう者 手話の正確性:30点→40点、演出力:30点→20点 聞こえる人 演出力:40点 【理由】 手話P甲子園はそもそも「手話言語」の祭典です。回数を重ねてきて、手話言語の重要性について理解が広がってきたと思いますから、少しずつ手話の正確性の評価点数配分を増やしていく調整が必要と考えます。 また、このままですと聾学校の入賞が厳しくなるという問題が出てくる可能性が高いと思います。	・聾学校の本大会出場の高確率が高い状況 ・本大会で手話の正確性の得点は聾学校が高い傾向 ・第1回～6回大会の得点順位7位以内の聾学校の数は、2、2、4、2、3、3校 ⇒実態として聾学校の本大会出場の高確率が高く、「手話の正確性」の配点を上げると、さらに聾学校に有利に働く傾向となり得る一方、聞こえる人に手話パフォーマンスを通じて手話言語を広めるため、参加しやすい大会づくりにも考慮する必要もある。 大会参加のためには手話指導者の確保も課題となる中、「手話の正確性」の配点を上げると、聾学校以外の学校が新たに大会参加するハードル高めることにつながる可能性もある。
25	交流会	催し	アトラクションを完全になくすこと	協賛でマグロの解体ショーを実施していただける場合もあり、催しについては高校生の交流時間も踏まえながら検討したい。
26	交流会	催し	審査委員長のエールの位置付けについて要検討	今回は特別に(早瀬さんの意見を元に)庄崎審査委員長の提案でエールと併せてパフォーマンスをしていただいたもの。次回はエールのみとする方向で検討したい。
27	交流会	催し	庄崎委員長のパフォーマンスは、交流会向けではなかったように思う。挨拶だけの方が良かった。	今回は特別に(早瀬さんの意見を元に)庄崎審査委員長の提案でエールと併せてパフォーマンスをしていただいたもの。次回はエールのみとする方向で検討したい。
28	交流会	催し・時間	マグロの解体ショーが始まると生徒はそこに集まってしまって、庄崎委員長の演技をしっかりと見えていない。また、演技が少し高校生には難しかったようだ。交流の時間を長くして、アトラクションの時間をなくす。	今回は特別に(早瀬さんの意見を元に)庄崎審査委員長の提案でエールと併せてパフォーマンスをしていただいたもの。次回はエールのみとする方向で検討したい。
29	交流会	催し・時間	マグロの解体ショーの最中に庄崎さんのメッセージがあったが、聞こえる高校生はマイクで伝わるが、聞こえない高校生はマグロに集中しているため伝わらなかった。パフォーマンスは一つ一つに時間を空け、全員に伝わるスケジュールにするべきだと感じました。	今回は時間的に並行して催しを進行せざるを得なかったが、次回の進行はなるべく重複しないよう工夫したい。
30	交流会	メニュー	立食メニューの中でちらし寿司はたくさん余っていたようだった。マグロの解体ショーをするならメニューを生徒の好むものに変えた方が良くと思う。	高校生に好まれるメニューを引き続き提供できるよう調整したい。
31	交流会	教員交流	引率教員同士の交流をいかにして盛り上げるか要検討	教員同士も交流をしていただくよう司会が呼びかける等を検討したい。
32	交流会	情報保障	プロジェクター投影画面が暗いので、明るくする工夫を!	会場の環境・設備等も踏まえ検討したい。
33	交流会	情報保障	何かあるときは会場全体の照明を点滅させたらどうか。	会場の照明設備の状況も踏まえ検討したい。
34	交流会	生徒交流	初出場の生徒もおり、私たち大人がもっと生徒同士の交流をファシリテートできればよかった。	スタッフの促しだけでなく、引率教員等にも生徒同士の交流を促すなど工夫をしたい。
35	交流会	生徒交流	立食形式で各団体の配置はよかったと思うが、初めての生徒であったり、演技司会の生徒は一人がらであったので配慮がいただきたかった。	次回は配慮したい。
36	交流会	出席者	高校生ボランティアの生徒も交流会に参加できるようにすると、さらに交流が広がるのでは。(予選で敗退する学校もあるため)	モニター等を設置しながら230名以上が入れる交流会会場確保に苦慮している状況や費用面での課題がある。
37	その他		手話ボランティアで当日欠席の人がいたと聞いた。不都合はなかったか？	複数スタッフの配置によりカバーできた模様。
38	その他		関わるスタッフ全員に対して簡単な手話講座をしたら良いのでは？	現在はボランティアスタッフの説明会に併せて鳥聴協の協力により簡単な手話講座を実施している。 全スタッフ約250名への手話講座の開催は、実施方法(講師・時期・場所・費用等)の課題がある。

第6回 全国高校生
手話パフォーマンス甲子園
アンケート結果

アンケート結果【来場者】 . . . P13

アンケート結果【出場チーム 引率】 . . . P21

アンケート結果【出場チーム 生徒】 . . . P31

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園アンケート結果

【来場者】

《回答者数》369名

1 年齢（年代）

0～10代	29	8.0%
20代	30	8.3%
30～40代	106	29.2%
50～60代	154	42.4%
70代～	44	12.1%

363

2 お住まいの場所

県内	253	68.6%
県外	116	31.4%

369

3 聴覚障がいの有無

あり	50	13.8%
なし	313	86.2%

363

4 過去の大会観覧の有無

あり	180	49.2%
なし	186	50.8%

366

《ありの内訳》

来場：122、ライブ中継：27

5 大会を何で知りましたか

チラシ・ポスター	117	28.5%
インターネット	32	7.8%
SNS	9	2.2%
テレビ・ラジオ CM	61	14.9%
新聞雑誌等	27	6.6%
関係者からの紹介	109	26.6%
その他	55	13.4%

410

《その他》

手話サークル、手話講習会、友人、知人、家族、大会主催者、出演者、小学校からのポスター社協にあったチラシ、手話奉仕員養成講座での紹介、全日本ろうあ連盟、地元聴障協会、県庁前ののぼり旗、全国ろうあ者体育大会

6 御来場の動機

①過去の大会を見て良かったから	71	21.19%
②手話に興味があったから	84	25.07%
③人に誘われたから	31	9.25%
④高校生の演技が見たかったから	60	17.91%
⑤家族・親族・知人が出場するから	51	15.22%
⑥司会・ゲスト等の出演者を見たかったから	13	3.88%
その他	25	7.46%

335

《その他》

- ・手話表現。聞き取りの勉強のため
- ・協賛団体
- ・前から見たいと思っていた
- ・孫（小学生）が手話に感心が有り出かけました
- ・手話サークルで来場
- ・とてもよいと聞いたので
- ・鳥取市で行われ、時間があったから
- ・来年の出場にそなえて
- ・地元の高校にも興味を持ってもらいたい、目指してもらいたいと思い、実際の大会を見てみたかった。
- ・手話に関わり、一度はこの会場に足を運び、想いを感じたかった。
- ・お城祭りのついで
- ・追手門大手前高等学校の生徒の母
- ・学校との交流有り

7 大会の感想

とてもよかった	270	76.5%
よかった	82	23.2%
あまりよくなかった	1	0.3%
よくなかった	0	0.0%

353

【とてもよかった、よかった理由（抜粋）】

- ・皆、一生懸命。感動しました。今の問題や社会の出来事も盛り込みすばらしい構成と内容だった。
- ・孫のおかげで今日、縁に合わさせてもらい祖母としてとても幸福です。ありがとうございました。
- ・回を重ねる毎に、学生の皆さんの手話技術が向上され、こちらも刺激を受けることが出来ました。
- ・毎年、本当にすごく力（パワー）をもらっています。高校生のボランティアがとても良かったです。
- ・すべてが感動しました
- ・聴覚障害の生徒さんだけでなく、健常の生徒さんとの合同発表等障害を越えたパフォーマンスに感動。
- ・このような福祉行政は本当に人々を幸福にする。とっとり県サイコウ！
- ・手話が広まることで差別や偏見がなくなることを実感できたから
- ・午前のみのもりだったが全日観覧した。高校生たちが誰にでもわかりやすいように表現する気持ちや演技に魅了され、涙が止まらなかった。ろう者の方の生の声をきくことができ、知ることがたくさんあった。もっと交流して、私もろうの方のことを知りたいと感じた。同じように話せる社会が実現するとういなと思った
- ・手話に興味を持った
- ・高校生の一生けんめいの姿に感動した。スタッフが高校生でよかった

- ・年々洗練された進行・演出でした。今日の司会・進行のように高校生がどんどん活躍してほしいです。
- ・来場して観させてもらうのは初めてでしたが実際に観て涙がとまりませんでした。感動しました。
- ・高校生の演技が本当にすばらしく感動しました。これからもずっと続けてください
- ・チーム数は少なくなったが、休憩時間を挟まなくてよくなった。(良くも悪くも)
- ・手話、演出がかなりレベルアップしていて、どのチームもクオリティの高い8分間を作りあげることができていたと思う。まだ運営面、情報保障に関しては改善できる点がある”
- ・県外の手話も知れたから
- ・手話に興味を持ち手話を使って何かを表現したいと思っている若者がいるということがうれしい。
- ・聞こえる側もろう者側も楽しめるような、素晴らしい設備だったため、たくさんの方とお話ができたり、関わることができたから

【あまりよくなかった理由】

- ・審査の途中でインタビューをするのは論外では?パフォーマンスか、弁論大会かわからない。質が低い初歩的なものが多い。後半はパフォーマンスでした。

8 出場チームの演技を御覧になった時間帯

全日(午前・午後)	234	68.2%
午前のみ	52	15.2%
午後のみ	57	16.6%

343

9 印象に残ったチーム

米子西高等学校	21	5.7%
ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校	5	1.3%
美唄聖華高等学校	4	1.1%
鳥取聾学校	59	15.9%
田園調布学園高等部	0	0.0%
済美高等学校・松山聾学校	23	6.2%
身延山高等学校・富士学苑高等学校	11	3.0%
聖心学園中等教育学校	29	7.8%
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	21	5.7%
田鶴浜高等学校	16	4.3%
熊本聾学校	12	3.2%
奈良県立ろう学校	38	10.2%
真和志高等学校	99	26.7%
米子東高等学校	28	7.5%
大泉桜高等学校・立川ろう学校	5	1.3%

371

10 ゲストパフォーマー(劇団あしたの会)の感想

とてもよかった	142	57.7%
よかった	67	27.2%
あまりよくなかった	3	1.2%
よくなかった	1	0.4%
見ていない	33	13.4%

246

11 会場内の催しで良かったもの

あいサポートマルシェ	50	11.9%
鳥取県聴覚障害者協会コーナー	35	8.4%
大会公式グッズ販売	51	12.2%
手話パフォーマンス甲子園弁当販売	33	7.9%
高校生販売コーナー	41	9.8%
協賛企業 PR コーナー	7	1.7%
手話パフォーマンス甲子園カフェ	50	11.9%
鳥取聾学校写真作品展	34	8.1%
手話ロボット体験コーナー	75	17.9%
その他	8	1.9%
見ていない	35	8.4%

419

12 大会へのご意見・ご感想・ご提案
別紙 1

13 情報保障（字幕表示・要約筆記・手話通訳等）についてのご意見・ご感想
別紙 2

14 来年も大会を見に行きたいと思うか

是非行きたい	211	73.0%
行ってもよい	48	16.6%
行かない	2	0.7%
分からない	28	9.7%

289

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園アンケート結果

【出場チーム 引率】

《回答数》32名

(同一校から複数の引率者の回答あり)

1 大会に参加されたきっかけ

学校(先生)が生徒に提案した	7	41.2%
生徒から希望があった	3	17.6%
自治体から参加の打診があった	0	0.0%
部・クラス等の活動となっている	7	41.2%
その他	0	0.0%

17

2 大会参加する方針はいつ頃決まっていたか

2019年3月以前	10	55.6%
2019年4月以降	8	44.4%

18

3 大会参加に向けて手話指導は誰がされていたか(複数回答可)

教員	12	44.4%
都道府県聴覚障害者協会からの派遣者	3	11.1%
手話サークルからの派遣者	1	3.7%
手話のできる個人(手話通訳士等)	5	18.5%
生徒の独学(手話指導は特に受けていない)	2	7.4%
その他	4	14.8%

27

《その他》鳥取県手話普及員、広島南特別支援学校の生徒、外部指導員等

5 大会参加に向けて、演技指導などに協力・支援いただいた学校外の人・団体等があったか

あった	10	34.5%
なかった	19	65.5%

29

《あった》保護者、手話サークル「手和の会」、ろう者の友人、被爆伝承者の仲川さん、役場、県聴覚障害者協会

6 都道府県聴覚障害者協会に参加申込みした旨を協会に情報提供したか

情報提供した	7	41.2%
情報提供していない	10	58.8%

17

7-1 本大会の良かった点

- ・スタッフの方がきめ細やかにサポートしてくださり、ありがたかったです。荷物も多く、いろいろと勝手を申しましたが、臨機応変に対応してくださり、助かりました。ありがとうございました。
- ・スタッフの方々、ボランティアの方々のサポート力がすばらしかったです。しっかりパフォーマンスすることができました。ありがとうございました。
- ・運営スタッフさんのおかげでスムーズに行動することができました。ありがとうございました。
- ・参加校を15校に絞ったことで、どの出場校も見応えのある発表でした。ボランティアスタッフが地元の大学生に加えて高校生の皆さんも加わって、また違った交流に繋がりました。
- ・各学校の発表のジャンルが幅広くなってきており、輪が広がっているのを感じました。スタッフの方々が、大変親切で、こちらの要望に迅速に対応してくださり、助かりました。
- ・係の方々、スタッフの方々がいろいろ心配事をきいて対処してくださって嬉しかったです。
- ・スタッフの皆さん、細かい配慮ができていた。高校生のボランティア等、地域との関わりが増えた。ありがとうございました。本番に全力で臨むことができました。
- ・担当スタッフが丁寧でいろいろとお世話になった。
- ・全てスムーズに進んだ。日本財団のあいさつも手話で驚いた(よかった)"
- ・専属に担当者がついて、スケジュールを確認いただき、常に少し先の予定を把握して動くことができました。大変お世話になりました。
- ・今回、高校生のボランティアの子たちが様々な場で活動してくれて、とても良い交流になったと思う。
- ・とても充実した時間でした。運営の方々、スタッフ、学生ボランティアの皆さんに感謝の思いでいっぱいです。
- ・事務局スタッフ、ボランティアスタッフの方の対応
- ・各校に担当スタッフ・高校生ボランティアが配属され、移動等を適切に支持していただき良かった。
- ・全国の高校生の様々なパフォーマンス、たくさんのメッセージが込められていたと思います。また、高校生が精一杯何かに取り組む姿に心が洗われるような気がしました。とても感動的でした。生徒のおかげで、私もこの大会に参加できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・すばらしい大会でした。ありがとうございました。
- ・随所に手話通訳の方がおられ情報保障ができていた。
- ・閉会式後にまとめて取材があったのがよかった。手話通訳の方にも入っていただけたし、生徒が散り散りにならずによかったと思う。
- ・時間通りに、スムーズに進行されていた。
- ・それぞれのチームの発表、紹介ビデオ、司会等、とても素晴らしかったです。早瀬さんの司会は、さすがだと思いました。
- ・右のスクリーン(アップの映像)があって、見やすくて良かったです。
- ・生徒が同年代のろう者とふれあえた
- ・15校になったため、進行運営が、時間に若干ゆとりがあったこと
- ・リハーサル時間が多めに予定されていたこと
- ・司会が地元の高校生ではつらつとしていた。芸能人じゃない方がいいです。
- ・出場校数が15校となって以前よりスケジュールがゆっくりしていると感じた。その日のうちに帰れる学校も増えたように思います。席にゆとりがあった。"

- ・スムーズな進行でした。生徒たちが笑顔で過ごせました。
- ・20チームから15チームにした点
- ・代表各校の作品を見て、手話パフォーマンスの豊かさを知ることができました。
- ・ろう者の表現の世界を少し知ることができたと同時に、その可能性が無限であることを実感した。高校生の表現への集中力と、大きな成長を目の当たりに感激した。
- ・サポートする裏方の方々（照明・音響等）の努力に感謝します。
- ・手話に興味を持っている、または、持とうとしている高校生が増えていることを知ることができた。
- ・この日に向けて、今までにない経験を重ねていくことができました。生徒たちにとって、一生の宝になると思います。
- ・担当の方が丁寧に対応していただき、大変助かりました。
- ・こういった大会があること自体がすばらしい。

7-2 本大会の改善点

- ・チームで集団行動が必要なのは理解できますが、トイレ等にも行きにくく、少々窮屈にも感じます。
- ・スイッチャーとビデオカメラ撮影を一人で行えるよう、上の座席ではなくスイッチャーの後ろでビデオカメラ撮影ができると嬉しいと感じました。
- ・ダンスをする私たちのグループには、できればもう少しウォーミングアップの時間があればと思います。
- ・一番最初の受付（28日の朝と29日の朝）のところにも通訳の方がいらっしゃるとありがたい。
- ・閉会式終了後の生徒への取材が少し長すぎるように感じました。
- ・時々、早すぎるのでは？と思うこともありました。（待ち時間が10分以上。）佳子様の御移動を考慮に入れる必要もあるでしょうし、万全を期しての仕方ないことだとは思いますが、（でも、去年に比べれば、ゲストパフォーマンスまでみんなで見られてよかったかと）
- ・各班のボランティアの子たちが、何をしてもよいかわからない様子も見え、こちらが気を遣ったことも、多々あったので、もっと役割を明確にしてあると、もっとよくなるように思いました。
- ・せっかく高校生のボランティアさんを2名付けてくださったのに、本番前で全員演技のことで頭がいっぱいだったため、交流できなかった。（教員が少しコミュニケーションをとった程度）
スタッフさんもインターンで来ている方で、質問をしても困らせてしまう感じで申し訳なかった。”
- ・表彰式の時、生徒の位置から手話通訳が見にくかったそうです。
- ・ボランティアの方が一生懸命で、それはとても良かったのですが、本校の場合、引率者（2名）のうち、聞こえる教員は1名でした。全て、聞こえる教員に連絡が来ました。引率者がろう者でも対応できるようにしていただきたいと思います。
- ・閉会式後、鳥取県チーム以外もチーム毎で写真を撮る機会をいただきたい。
- ・昼食のお弁当を食べる場所が担当者によって違ったので、統一できたらよい
- ・字幕に不安がある。リハの時に不具合があり、とても焦りました。20秒の紹介動画がきちんと最後まで流れなかったのが残念。作成に生徒たちもずいぶん時間を割いて編集しただけに、心残りです。また、本番20秒の動画時間の掲示の仕方をもっと徹底してほしい。はじまり、きっかけがわかりにくい。
- ・大会ボランティア高校生の活用の仕方
- ・すべてのチームに賞を用意する”奨励賞”は不要だと思う。採点はフィギュアスケート方式で、電光

掲示板で、審査員の得点その場で示されるようにする→競技性を高めるだけでなく、時短にもなるが、審査員の引き受け手がいなくなる？入場者数が減ったと感じた。

- ・審査員の”聞こえる人”を手話言語に造詣の深い方にして、「手話言語の正確性・分かりやすさ」を審査していただきたいです。聴者文化の中での手話が評価されないのか疑問を持ちます。(医療モデルではなく、文化モデルで見いただきたい。)
- ・得点を発表終了後、即時開示していただきたいです。”
- ・チーム付きのボランティアさん、1チームに1人付き。またはもう少し事前研修を積ませてほしい
- ・着替えはトイレ、メイクは廊下だったので、通行人のご迷惑になったかもしれません。楽屋のようなものがあるとありがたいです。
- ・評価として、手話パフォーマンスのレベルの高さとは別に、高校生としての手話を通じた交流によるキャリア発達を含む成長や社会への影響、貢献の分野も表彰を設けていただき、手話言語の普及につなげ、表現者の層を厚くして欲しいと思います。
 - ① 演技スペースの考え方の違い(学校ごとに異なっているように思えた。
 - ② 音に合わせて手話をするが、ずれている場合、それは表現としてマイナスだと思うがその評価は
いかに？
 - ③ 合同チームを増やす(交流させる)目的の大会だったと思うが、今回の大会の方向性で、時間も苦労も多くなる。合同チームは増えると思うか？
- ・質疑応答まで審査に含めるとか…。(手話を広める活動なら、手話での会話までコンテストに入れてもよいと思います。手話を使う学校、演技のみ使う学校の差はあると思います。)内容も当日いきなり振られても手話でこたえる。
- ・読み取り通訳が内容を落としている所が残念だった。
- ・手話はろう者の言語であり、パフォーマンスの一部では？と感じた。(改善点というよりも疑問点)
- ・字幕のタイミングがもっとタイムリーだと、同じ時に同じ場で情報共有できると思いました。
- ・照明や音響などの確認の時間が短く、本番で変更点が修正されていなかったため、本番は音響・照明に近い位置に座らせてもらいたい。

8-1 交流会の良かった点

- ・高校生の交流時間が設けてあったのは良かったです。非常に楽しそうに過ごしていました。
- ・交流カードの交換等、生徒間の交流を促す工夫がされておりとても良かった。食事も美味しかった。
- ・生徒だけの交流会の時間がとってあったので、生徒同士の交流ができてよかったです。
- ・生徒同士交流する時間を設けたことで、他校との交流が広がったと感じました。
- ・「交流カードを配りきる」という生徒たちの目標ができ、より他校の生徒さんに話しかけやすくなったようでした。
- ・交流カードや交流の時間を用意して頂いたことで例年以上に生徒が多く他校生の皆さんとスムーズに交流をしていた。今後も引き続き交流を深めていく様子も見られました。
- ・交流カード、良かったです。
- ・交流カードのアイデアがよかった。
- ・交流カードがあり、生徒たちはこれを使って積極的に交流することができ、交換したカードも大切にしている様子を見て、とても楽しんだことが伝わってきた。
- ・交流カードはとてもよかったと思う。とても良い機会でした。ありがとうございました。

- ・交流カードがあったことはとても良い交流に繋がりました。様々な学校と話すきっかけにできました。また、様々なパフォーマンス企画もとても楽しませていただきました。
- ・毎年、素晴らしい交流会で美味しいごちそうに子どもたちも喜んでいる。今年は交流カードが生かされ、7:30からの親睦が深まった。"
- ・高校生の交流時間、交流カードが設定されていて、消極的な生徒もスムーズに交流できた。すなば珈琲さんに感謝！交流カードは事前にもらえると丁寧に準備できたと思います。"
- ・生徒同士の名刺交換
- ・交流が深まった点。カードも活用していました。"
- ・最後のほうの生徒同士の交流は楽しそうで良かったと思います。
- ・名刺を交換する高校生交流がとても良かった。ろう者と交流する良い機会となった。
- ・いろんな学校の生徒たちと、カードのやりとりもでき、繋がりができたことはよかったです。準備はとても大変だったと思います。本当にありがとうございました。"
- ・高校生がカードを持って交流している様子がとてもよかったです。
- ・門さんや庄崎さんの本物のパフォーマンスを見ることができて刺激になりました。"
- ・庄崎隆志さんのパフォーマンス、門秀彦さんのライブペインティングがあったこと。高校生同士の交流ができたことです。
- ・他校の先生方や、審査員の方ともお話することができたこと。食事也非常に美味しくいただきました。庄崎さんのパフォーマンスも見れたこと。
- ・庄崎さん、門さんのパフォーマンスがとてもすてきでした。交流タイムもよかったですと思います。
- ・いろいろ工夫されており、生徒も本線に向けて、気持ちが高まったように思う。
- ・シャトルバス、毎度お世話になります。19:30に一度終了後、生徒同士での交流時間を設けてくださり、また、名刺を準備いただいたおかげで、よりスムーズな交流ができたようです。
(名刺は本大会でも活用していた生徒がいました。)"
- ・チーム紹介があり、盛り上がったところ。庄崎審査員長の特別パフォーマンスも勉強になりました。生徒はマグロがとても美味しい！さすが鳥取！と喜んでおりました。
佳子様とお話できた(させていだけた)ことも、とても良い経験になりました。
- ・スクリーンがあって、視覚的に見やすかったこと、チームの紹介もよかった。
(チーム紹介の時、読み取りを自分たちですするために、急遽司会者の方のマイクをお借りしました。対応していただきありがとうございました。"
- ・これまでに比べ、食べる時間があつた
- ・多くの人との関わりがもてる内容で良かった。
- ・生徒たちはとても交流会を楽しみにしていたので、今回参加でき、大変貴重な経験となった。
- ・手話を用いて、多くの高校生が交流を深められたこと
- ・全国の高校生と自然と仲良くなれる仕組みがすばらしかった。

8-2 交流会の改善点

- ・交流時間が30分から20分に短縮し、少し時間が足りないようでした。
- ・交流の時間をもう少し長くとしたほうがよいと思った。
- ・生徒同士の交流の時間は、もう少し長くてもよいかもしれません。直前の参加者に対する説明、もう少しソフトな雰囲気でもらった方がよいと思います。

- ・生徒同士の交流時間が短くなってしまった。他を削ってでも、その時間は確保したい。
- ・交流会の終了時間をもう少し（30分程度）早くしてほしい
- ・チーム紹介の際に、こちらの学校名を間違えられて、それを訂正する余裕が生徒側になく、終わった後、少し泣いてしまう…（緊張しすぎたのと、恥ずかしいのとで）ことがあったので、難しいと思うのですが、チーム名（学校名）の確認を事前にお願ひできると嬉しいのです。
- ・交流会の学校紹介の手話の読み取りに間違いが多すぎ、（昨年も）事前に原稿を伝えておく方法はどうか？
- ・生徒だけの交流時間があつたのは良かったですが、限られた学校のみになってしまつていた。引率教員の交流ももっとできるとよい。
- ・交流会はとてゝありがたい反面、この時間をリハーサルに使えたらと思わなくもない。（競技性も高まる）→交流会不要という意見ではありません。せめてリハーサル2回を通してでやれる時間がほしい（30分）
- ・教員同士交流する時間もあれば、情報交換を通して相互にレベルアップが見込めると思ひます。
- ・自己紹介カードというシステムはとてゝよかったと思ひのですが、できれば、事前に配布していただきたかつたです。”
- ・名刺の枚数を増やしてほしい
- ・交流時間カードの記入を大会前にできていたらありがたいと思ひます。
- ・交流カードを書く時間をゆつくりとらせてほしかつた。会場（とりぎん文化会館）に着いてから受付までの時間があつたにも関わらず、時間通りの受付をしたために、説明が不足。欠場の学校の分、時間変更の説明もなし。細かな打ち合わせが練習リハなどのすきま時間に何度もしたので大変だつた。（早めの到着で、担当者に余裕があるなら考えてほしい）”
- ・カードに個人情報を書くことに抵抗を感じた。
- ・読み取り通訳が内容を落としてゐる所が残念だつた。
- ・他の聾学校と離れた席で、少し交流しづらかつた様子もみえました。
- ・ろう者はろう者同士で、健聴者は健聴者で盛り上がつてゐるようによつて見えた（お互いの交流も当然あつたのだが）
- ・抱負の読み取り通訳が不十分で、会場全体に内容が伝わつてゐなかつたので、読み取りが難しい場合は事前に原稿提出などの工夫があるとよいと思ひます。
- ・できれば、ボランティア参加してゐる生徒たちにも交流会への参加が許されればよいと思ひます。

9 大会参加によつて聞こえない人（聞こえる人）との交流が生まれた事例

別紙1

10 大会参加による地域イベント等で手話を広めることによつた等の事例

別紙2

11 大会全般への御意見・御感想・御要望等

- ・時期は検討していただきたい。予選通過から本大会までが短いように思ひます。お盆、学校祭と重なり、非常に厳しい。本大会も、考査期間と重なつてゐますので、あと1か月ずれると余裕が持てると思ひます。会場の都合等あるので、仕方ないと思ひますが…。

- ・ 時期的にもう少し余裕があると、ありがたかったです。
- ・ 生徒、教員共に、大変に貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。10月に入ってからの方が、時期的によいのではないかと感じました。この時期はどの高校もテストが近いのではないのでしょうか。
- ・ 舞台演出に関しては素人ですので、リハーサルで細かい打ち合わせができるようリハーサル時間を延ばしていただけると、照明等担当の方々にご迷惑がかからず演出していただけるかなと思いました。今回は指示が分かりづらく、大変困ってらっしゃったようでした。ご迷惑をおかけ致しました。
- ・ 参加校を前年度までの20校にさせていただきたいです。
- ・ リハーサルの時間をもう少し増やしていただきたいです。"
- ・ 大会運営は本当に大変だと思いますが、これからも続けていってください…。私は鳥取県生まれですが、昨年、今年と久しぶりに鳥取に戻ってみて、活気を感じました。地元の若者を巻き込むイベント、本当に素晴らしいと思います。
- ・ 他校のすばらしい演技に触れ、生徒たちは大変感動していました。予選通過発表から本番に向けての様々な提出物を夏休み中に準備しなければならず、夏休み中に登校日のない学校(生徒の自宅が遠い)にとっては日程がタイトで締め切りを過ぎてしまったり、ギリギリだったりしてご迷惑をおかけしました。予選の通過発表からもう少し時間がほしかったです。"
- ・ 開催時期がもう少し後の方(11月頃)の方が参加に向けての準備・練習がしやすくて良いと思います。
- ・ 表現を審査するので、難しい面はあると思うが、「背景で写真やイメージイラストをどの程度使用するのか。」「台詞を前もって録音して流すのは可能なのか。」等、年々確認して審査基準を深めてほしいと感じました。
- ・ 回を重ねるごとに実行委員、運営委員の皆様もベテランになり、より行き届いたぬかりの無い準備、ご指示でした。却って私共のほうでご迷惑をおかけして、メールや電話をいただきました。申し訳ありませんでした。お世話になりました。"
- ・ 細やかに配慮していただき、本当にありがとうございました。
- ・ 班のお世話をいただいた、はぎさんにもとてよく気配りいただき感謝しています。お世話になりました。丁寧にご対応いただきありがとうございます！
- ・ 毎年、手際が悪くご迷惑ばかりで本当に申し訳ありません。
- ・ 心から感謝です。色々とお世話になりました。
- ・ 準備等からいろいろお世話になり、ありがとうございました。お疲れ様でした。
- ・ もし、生徒が強く希望すれば、来年も参加できるよう考えたい。今年度は全国陸上大会(ろう学校)と日にちが重なり、出場が危ぶまれ、ギリギリまで悩みました。日程の決定には、ろう学校(全国)に関わる行事の日程の調整をお願いしたい。
- ・ 鳥取市での開催がありがたいです。この時期は台風の心配があるので、10月11月だと安心です。ホテル確保も余裕があるし、交通の面でも楽。グッズは個人毎に区別しておいてほしい。注文内容を忘れてしまった者がいて混乱した。"
- ・ 写真、動画撮影に関する記述が異なる部分があり、混乱しました。お願いした時間に昼食(弁当)がいただけず、発表準備に影響が出ました。"手話が言語である"ということを普及するために手話パフォーマンスのいちコンテンツとして捉えなければならない…。難しいですね。"
- ・ 審査員(ろう者・聴者)ともに同じ点数にすることが望ましいと思う。平等であるべきだと思う。
- ・ 本大会でも大変お世話になり、ありがとうございました。鳥取県をあげて、この大会を盛り上げてく

ださっていることに感動しました。

- ・高校生ボランティアは2人ともとても個性的でした。彼らにとって、このボランティアが先に繋がっていくといいなと思います。
- ・大学生スタッフの服部さんは一所懸命、丁寧にサポートしてくださいました。皆様、お世話になり、ありがとうございました。"
- ・バス、送迎の時刻を事前に打ち合わせができれば、大変ありがたいと思います。大会終了時間について…今年度はいろいろと無理を聞いて頂き、すみません。大変感謝しています。大会終了後から余裕を持って帰る場合の交通に関して、深夜になってしまうことのないよう、終了時間の検討をして頂きたい。また、後泊も考えますが、その場合、学校の公欠(テスト期間と重なります。)宿泊費の負担など、生徒個人の負担が増となるため、大会へ参加したくても諦めざるを得ません。高校生(障害者を含む)大会のため、教育的配慮として、管理職から許可が出ないことも想定できます。

(今大会は深夜に帰るならNGの方向が強かったです。)

- ・パフォーマンスの内容が良かったところがある反面、エ！？と思えるパフォーマンスもあった。今回の大会から合同チーム枠が設定された。今回の大会に向けて、本校では8、9月で30回近い合同練習を実施し、入賞はできなかったが、生徒にとってはとても実になる交流をすることができた。感謝したい。
- ・動画に字幕を付けるなど、初めてでは、なかなか大変な作業も多いので、もう少し参加しやすい方法などを今後検討していただきたいと思います。

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園アンケート結果
【出場チーム 生徒】

【回答数】116人

1 大会に参加した動機（複数回答可）

手話を学んでいたから	34	15.4%
手話を広めたいから	44	19.9%
大会に憧れていたから	47	21.3%
先生から勧められたから	32	14.5%
友人に誘われたから	3	1.4%
部やクラスの活動だから	56	25.3%
その他	5	2.3%

221

《その他》

- ・第3回大会で先輩方が優勝して、参加したいと思ったから
- ・他の高校の手話パフォーマンスを見て、手話をもっと学びたいから。
- ・先輩たちを見て入りたいと思ったから
- ・前回参加していた済美高校から誘われたから
- ・部活の先輩に誘われたから

2 大会に参加するまで手話パフォーマンス甲子園を知っていたか

知らなかった	22	19.3%
知っていた	92	80.7%

114

《何で大会を知っていたか》

大会に参加（見た）ことがある	26	22.4%
インターネット等を見た	32	27.6%
先生や先輩から聞いた	51	44.0%
家族・友人等から聞いた	2	1.7%
その他	5	4.3%

116

3 大会に参加・出場した感想について

とてもよかった	98	84.5%
よかった	18	15.5%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%

116

【理由等（抜粋）】

- ・手話のことをよく学べた。他校の人と交流できた。ろう者の気持ちがわかった。
- ・ろう者の方々の演技力や表現の仕方など、すごく学ぶことが多くて勉強になりました。

- ・手話甲子園に初出場してみたけど、お客さんがたくさん来ていてびっくりした。でも、パフォーマンスを成功できたので、思い出に残りました。
- ・自分たちで作り出したものを、全国の皆さんに見てもらえてよかったです。
- ・この大会でたくさんの人に出会うことができたので、本当に良い機会をいただくことができたなと思います。
- ・合同チームとして出場し、交流でき、さらに、一緒に達成感を味わうことができ、とても良い経験になりました。
- ・たくさんの方の前で発表するのは苦手なので、頑張れてよかったです。
- ・色々な高校生の手話への熱気や技術を見ることができて、とても良かった。
- ・出場してみて、全国大会の大きさを知ることができて、とても良かったです。他の学校の発表を見れて本当にすごかったと思いました。
- ・表現や手話などの表し方がそれぞれ違うことを知りました。
- ・鳥取に来ることができ、手話を身近に感じ、手話友を作ることができたから。
- ・他校のパフォーマンスに感動したため
- ・手話に対する気持ち（身につけようということ）が高まった気がする。
- ・自分の学校のチームだけではなく、他の学校のチームの発表も見れてよかったと思う。交流会もまた自分にとっては良い経験ができたと思う。”
- ・半年間、ともに手話を学び、支え合いながら大会に向けて練習してきた成果を全員で最高のパフォーマンスできたことが本当に感動したし楽しかったから
- ・この大会に参加していなかったら、ろう者の方々について知る機会がなかったから、ろう者の方々の気持ちなどがよくわかった。
- ・本当に手話で繋がれるってすごいことだと、心から感じた。

4 大会期間中、他校やボランティア生徒などとの交流はあったか

あった	104	91.2%
なかった	10	8.8%

114

【交流内容（抜粋）】

- ・交流カードの交換がきっかけで他校の人とたくさん話すことができました。
- ・他校と交流できましたが、ボランティア生徒との交流はできなかったのも、またしたいです。
- ・交流会をきっかけに、インスタグラムをフォローしあったり、発表前には「頑張らしましょう」「頑張ってください」発表後には「お疲れ様でした。」などの声のかけあいがあり、心地よかった。
- ・自分の地元のことを話したり、学校について話すことができました。
- ・前日のホテルの交流会がすごく楽しかった。

5 来年も参加してみたい（参加を勧めたい）か

是非、参加したい(してほしい)	91	79.8%
どちらかというに参加したい(してほしい)	18	15.8%
どちらかというに参加したくない(してほしくない)	5	4.4%
もう参加したくない(してほしくない)	0	0.0%

114

【参加したい等理由（抜粋）】

- ・来年は後輩が出ると思います。(出てほしいです。)大会に向けての準備を通して、良い経験ができ

るので、ぜひ出てほしいです。

- ・一生に一度であろうこの甲子園を体験してほしいから。
- ・多くのことが学べて、貴重な体験ができたから。
- ・残念な結果になったので、もっと素晴らしい賞をとれるように頑張りたいから。
- ・とても貴重な大会だから。
- ・人生の中で、こんなに大勢の前で劇をすることはないし、他の都道府県の人、ろうの人と関わることはないと思うので、きっとその人の糧となると思います。
- ・障がいの有無関係なく、交流ができ、良い経験ができるから。

【参加したくない等理由】

- ・本気で入賞したいのなら、やる気ももちろん、それなりの力がある人でないとダメだと思った。
- ・来年は勉強に力を入れたいからです。
- ・来年は部活と受験があって忙しいから

7 大会に参加した経験を今後どのように活かしたいですか？（複数回答可）

手話をもっと学びたい	69	27.7%
手話を家族・友人等に広めたい	54	21.7%
学校や地域イベントで演技を披露したい	36	14.5%
聞こえない人・聞こえにくい人と交流したい	72	28.9%
手話に関わる仕事がしたい	14	5.6%
その他	4	1.6%

249

8-1 本大会の良かった点（抜粋）

- ・スタッフの皆さんがとても親切でした。ろう者の方々ともコミュニケーションをとれたことも、とてもよかったです！
- ・きちんと手話があって助かりました。
- ・スタッフのみなさんやボランティアをしてくださった高校生の方が、優しくわかりやすい説明をしてくださって嬉しかったです。
- ・どの学校もすごく感動するパフォーマンスでした。司会進行もおもしろくて、本大会とても楽しかったです。
- ・誘導してもらったとき、とても分かりやすかった
- ・手話の通訳が分かりやすかったです。スタッフの声もわかりやすかったです。
- ・大きなスクリーンがあるから、遠くから見ても手話を見やすい
- ・スタッフの方や高校生ボランティアのかたの対応が親切で丁寧でとても安心できました。
- ・進行がとてもスムーズでよかった。スタッフやボランティアの方々がとても優しく接して下さって良かった。
- ・目印が多く、わかりやすかった。
- ・手話通訳が居て、わかりやすかった。
- ・「全国」パフォーマンス甲子園という大会自体がとても良く、当日、舞台裏で細かく指示出しをして下さったのが本当によかったです。
- ・いろいろな学校の発表を見れて、自分もいろいろな考え方を持っているんだから、主張できたらいいなと考えさせられることができて良かった。

- ・演技中、字幕があったので、手話があまり得意でない人にもわかりやすかった。
- ・売店がたくさんあって充実していた。
- ・お昼ご飯の時間にグッズやお菓子が売ってあったり、カフェみたいなものもやっていて、面白かった。
- ・ご飯の時間がたっぷりあったので、出演者もゆっくり楽しむことができました。”
- ・去年は舞台裏に居たので見られなかったが、今年はゲストパフォーマンスを客席で見れたので良かったです。
- ・いろいろなジャンルのパフォーマンスを見て楽しかった。直前にリハができて良かった。
- ・リハーサル時間が30分間もあったのが良かった。
- ・遠くからでも文字や手の動きが見えやすいスクリーンがよかったです。

8-2 本大会の改善点（抜粋）

- ・日本語字幕が遅れているので、読み取りにくかった。
- ・並び順など、よくわからない点が多かった。
- ・手話通訳が見えない。
- ・演技ができるエリアを広げてほしい（音がうるさい）
- ・お昼のお弁当がくるのが遅くて、準備の時間が少なかった。
- ・閉会式が長い
- ・表彰式の際、列の後ろのほうに居て、手話通訳者が全く見えなくて、何を言っているかわからない状態だった。並び方をもう少し工夫したほうがいいかもしれない。”
- ・演技時間を示すランプを、演技者から見やすい位置に置いてほしい。
- ・ピンスポや照明が間違っていて本番中にとっても困った。指定どおりに点けたり消したりしてほしい。
- ・表彰式の話が長い。

9-1 交流会の良かった点（抜粋）

- ・今まで手話を使う機会があまりなかったので、ろう者の方とコミュニケーションをうまくとれるか不安でしたが、スタッフの方々のサポートのおかげで、ろう者の方ともスムーズにコミュニケーションをとることができて良かったです。
- ・料理もとてもおいしくて、他の学校の生徒さんとも交流する機会を与えてくださりとても幸せでした。
- ・カードによって他校とお話するきっかけになったのでよかった。
- ・30分間、生徒が交流できるよう、カードも用意してくださり、素晴らしい機会になりました。
- ・たくさん交流できる機会に、交流カードというものを作って、より深められるように工夫していて、とても良かったです。
- ・梨ジュースがおいしかった。マグロの解体ショーが良いと思った。
- ・たくさんの催し物があってよかった。
- ・スタッフの案内が、わかりやすくてよかった。
- ・手話の通訳がわかりやすかったです。スタッフの声も分かりやすかったです。
- ・楽しい交流会ができて、良い思い出ができたのと、他の高校とも交流ができたこと
- ・(スタッフが)他の学校の生徒さんとの交流を促してくれたことで、交流できたので嬉しかったです。
- ・色々な学校の方と手話でコミュニケーションをとれたことです。
- ・佳子様を拝見でき、とてもうれしかった。食事が美味しかった。
- ・催し（マグロの解体ショー、ライブペインティング）もとても面白く、楽しい時間を過ごせました。

9-2 交流会の改善点（抜粋）

- ・スイーツがなくなってしまうのが早く感じて、食べられなかったのが残念でした。
- ・他校との交流時間が短かったので、あんまり話せなかったです。
- ・もっと積極的にしゃべりかけて、もっと交流を深めたいと思った。来年は友達10人以上作りたい。
- ・聴者との交流ができなかった。
- ・カードをもう少し増やしてほしい。(カードが足りなかつたりしてしまった。)
- ・料理の取り始めるところがわかりにくくて、途中でぶつかったりした
- ・カニクリームコロッケを食べることができなかった。
- ・立食の前の説明の時の手話が見えなかった。
- ・スイーツとカニクリームコロッケをもっと食べたかった。(1つも食べられなかった。)"
- ・立食パーティー、各自取りに行くスタイル、高校生の私たちには少し気が重かったです。
- ・交流カードを書く時間が少ないから、事前に配布してほしいです。
- ・もっと交流ができる時間を増やしてほしい。
- ・交流できなかった学校があったから、全部の学校の人と交流できたら良かった。

10 大会へのご意見・ご感想・ご提案（抜粋）

- ・手話の大切さを、より実感し、もっと手話の大切さを広めていきたいと思いました。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・高校生にもっと大会について知ってほしいです！甲子園について多くの人に関心を持ち、出場して下さるチームが増えると嬉しいです！
- ・本当に良い経験ができ、このような機会を用意していただいたことに感謝します。
- ・早瀬さんのことをNHKで見えていて知っていたから、実際に会えてすごく嬉しかった。
- ・当日の担当スタッフさんが優しかった。"
- ・今まで手話を身近に感じたことがなかったけれど、もっと手話について知りたいと思うきっかけになりました。
- ・交流会など、手話を通して、普段は会う機会がない県外の人と手話友になれて良かったです。
- ・聞こえる人も聞こえない人もお互いに応援しあって、とても温かい雰囲気の大会でした。鳥取県民の1人として、誇りに思います。"
- ・感謝しきれないほどに応援していただいてありがとうございます。
- ・交流会ではイスがほしいです。2時間立っているのは少し辛かったので、休憩にと、腰を休めるスペースなどがあると嬉しいです。今回は、このような素晴らしい大会に参加できて嬉しく思います。
- ・来年もまた参加できるように、技術を磨いて参りますので、また来年も素晴らしい大会してください！
- ・ステージで手話を披露する前にスタッフさんやボランティアの高校生さんたちが”頑張ってる”と声をかけてくださり、緊張をほぐすことができました。嬉しかったです
- ・これからもこの大会が続いてほしいです。
- ・自分の高校生活において、とても良い経験になりました。他校の方と手話で挨拶を交わすことができ、良かったです。
- ・手話パフォーマンス甲子園で手話が大切な言語であると改めて認識したし、もっとたくさんの人に手話の魅力を知ってもらうために、この甲子園がずっと続いてほしいと思います。
- ・本大会では色々なパフォーマンスが見れたし、審査員の人からもアドバイスがもらえてうれしかった。
- ・初出場でわからない事ばかりでしたが、しっかり説明して下さって無事本番を終えることができました。鳥取の方々、同じパフォーマンスをした全国の方々はとても優しく、交流することができて嬉しいです。
- ・他の生徒たちのパフォーマンスを見て、すごく感動したし、衝撃を受けました。1つ1つのグループ

が手話を通して伝えたいことがすごく伝わってきて練習の成果が出た発表にすべてのグループがな
ったと思います。最後に、このような大会に出られて良かったと思います。ありがとうございました。

- ・本当にいいステージに立つことができてすごく嬉しいです。
- ・今年もすばらしい大会を開催していただきありがとうございます。佳子様にお会いできたことも大変
光栄に思います。来年、私は引退していて出場ができないかもしれませんが、また来年の開催も楽し
みにしています。
- ・大会のおかげで交流の輪が広がり、自分の手話のレベルや技術が上がったと思う。大会を通して手話
を改めて学ぶことができた。
- ・もっとたくさんの人に見に来てもらいたい。もっと知ってもらいたいと思った。
- ・交流会の際に使用した「交流カード」のおかげで、色々な学校の方と話すきっかけになりました。
来年も作成してほしいです。
- ・スタッフの方が丁寧に案内、大会に関する説明を行っていただけて、安心して本番に臨むことができ
ました。ありがとうございました。来年参加されるチームの方にも、ぜひ続けていただきたいです。
- ・とても良い経験ができたと思います。普段の自分なら、あまり積極的に関わらない手話と深く学べて
良かったです。
- ・手話の大切さ、すばらしさを、この大会に出場して改めて感じることができました。もっと広めてい
きたい。



第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 基本計画（素案）

1 目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

2 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

3 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

4 特別協賛

日本財団

5 特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

6 後援（予定）

内閣府、厚生労働省、文部科学省、鳥取市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK 鳥取放送局、BSS 山陰放送、日本海テレビ、TSK 山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM 鳥取、DARAZ FM

7 開催日及び場所

(1) 本大会

ア 開催日 令和2年9月～10月のいずれか1日

イ 場所 倉吉未来中心（鳥取県倉吉市駄経寺 212 番地 5）

(2) 交流会

ア 開催日 本大会の前日

イ 場所 倉吉市内

(3) 予選審査会・結果発表

ア 開催日 令和2年7月30日（木）、31日（金）

イ 場所 鳥取県庁

8 参加募集

令和2年5月18日（月）から7月3日（金）まで ※予選審査動画の提出期限：7月17日（金）

9 参加資格

高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）・特別支援学校高等部・高等専門学校（3年生まで）・専修学校及び各種学校の修業年限が高等学校と一致している生徒（校長の推薦書が必要）

10 演技内容

手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才など

（予選審査：3分以内、本大会：6分以上8分以内）

11 本大会出場チーム

予選審査を通過した15チーム

①地方ブロック枠：6チーム、②得点順枠：6チーム、③合同チーム枠：1チーム、

④初出場枠：1チーム、⑤開催地枠：1チーム から選出

12 表彰

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

13 審査

(1) 予選審査会

ア 審査方法

動画視聴による審査（3分以内）を行い、手話言語の正確性・分かりやすさと演出力・パフォーマンス度の観点から採点し、本大会出場チームを決定する。

イ 審査員

4名（聞こえる人2名、ろう者2名）

(2) 本大会

ア 審査方法

ステージ演技による審査を行い、手話言語の正確性・分かりやすさと演出力・パフォーマンス度の観点から採点し、各受賞校を決定する。

イ 審査員

6名（聞こえる人3名、ろう者3名）

14 本大会及び交流会の内容

(1) 本大会

ア 時間（予定）

午前9時30分から午後4時まで

イ プログラム

- 1) 開会式（関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介等）
- 2) 出場チーム演技（演技時間：1チーム当たり6分以上8分以内）
- 3) ゲストパフォーマンス
- 4) 審査結果発表・表彰式
- 5) 閉会

(2) 交流会

ア 時間（予定）

午後6時から午後7時30分まで（終了後30分間は高校生同士の交流時間とする）

イ 参加者

出場チーム（生徒・引率者）、出演者（司会、審査員等）、来賓、実行委員会関係者等

ウ プログラム

- 1) 関係者挨拶、乾杯
- 2) 歓談
- 3) 出場チーム抱負 等

15 その他

- ・大会の裾野の拡大やレベル向上を図るため、これまで予選を通過したことのない学校を対象に、手話及び演技についてアドバイスできる者を希望する学校に派遣する（抽選）
- ・ろう者とろう者以外の者との交流促進のため、大会への参加が、学校と各都道府県聴覚障害者協会との交流の契機となるよう、参加申込みした旨を学校から協会へ情報提供することを推奨
- ・大会に関わることにより手話への理解・関心を広めるため、高校生の大会運営等への参加を進める

【参考添付】

第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 基本計画 要点

1 全国の精鋭が集う憧れの大会とするとともに、更に内容の濃い大会とする取組

① 本大会（本選）出場チーム数15チームを継続

- ・引き続き、本大会（本選）出場校の更なるレベル向上を図り、全国の精鋭が集結する憧れの舞台となる大会を目指すとともに、出場者及び観覧者双方ともに満足いただける内容の濃い大会とする

② 本大会（本選）出場チームは全国から選ばれた精鋭として、出場全15チームを表彰する

- ・入賞7賞のほか、手話パフォーマンス奨励賞を授与

③ 手話パフォーマンスアドバイザーを希望する学校に派遣し、手話パフォーマンスの広がりや大会レベルの向上を図る

- ・派遣を希望する学校へ4校程度、手話パフォーマンスアドバイザーを派遣する（抽選）
- ・対象 これまで予選を通過したことのない学校とする

※令和元年度は、大会参加申込3回以上で予選通過をしたことのない学校を対象に募集し（13校）、応募6校の中から抽選決定した2校に派遣

2 聞こえない人と聞こえる人との交流促進

① 本大会（本選）出場チーム枠に、聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他学校との合同チーム枠を継続し、聞こえない生徒と聞こえる生徒の交流促進及び相互理解促進により共生社会の実現に資する

② 大会を通じた学校と各都道府県聴覚障害者協会との関わりが生まれるきっかけづくり

- ・大会参加申込校の地元における聴覚障害者協会との交流促進の観点から、大会参加申込みした旨を学校が各都道府県聴覚障害者協会に情報提供することを推奨

3 高校生による大会づくり

① 大会に関わることにより手話への理解・関心を広めるため、高校生の大会運営等への参加を進める

- ・演技司会者、応援サポーター、大会ボランティア、高校生販売ブース

4 参加チーム拡大の取り組み

- 予選参加しやすい体制づくり（大会申込方法や予選動画作成に取り組みやすい方法）
- 演劇、ダンス、歌唱などのパフォーマンスを行っている学校への働きかけ
- 手話指導者を指導希望のある学校に紹介協力すること各聴覚障害者協会やろう学校へ働きかけ

第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の司会・審査員・ゲストの選出方針(案)について

区分		方針案	第6回	備考
総合司会		NHK等プロアナウンサー	NHK鳥取放送局アナウンサー 原田裕和	
演技司会	聞こえない人	早瀬氏の意向を確認しながら、継続を軸に調整	早瀬 憲太郎	
	聞こえる人	県内の高校生を起用	鳥取敬愛高等学校 河口 真里奈	大人の演技司会者の状況に応じて調整
審査員	ろう者 (審査員長)	予選審査 庄崎氏の意向を確認しながら、継続を軸に調整	俳優・演出家 庄崎 隆志	
	ろう者	予選審査 全日本ろうあ連盟の推薦者	全日本ろうあ連盟 副理事長 小中 栄一	
	ろう者	手話に関する活動、表現・演出等に関する活動に携わっている方(関係者等から候補者を伺いながら調整)	NPO法人TA-net 理事長 廣川 麻子	
	聞こえる人	予選審査 表現・演出等に関する活動等に携わっている方(審査員長等から候補者を伺いながら調整)	絵かき 門 秀彦	
	聞こえる人	表現・演出等に関する活動等に携わっている方(関係者等から候補者を伺いながら調整)	福岡ろう劇団博多 野上 まり	
	聞こえる人	予選審査 鳥取大学関係者等	鳥取大学地域学部 教授 塩野谷 斉	
ゲストパフォーマー		関係者等から候補者を伺いながら招聘可能な方を調整	劇団あしたの会	

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

令和元年11月8日現在

日程	内容	備考
H31年1月29日(火)	H30 実行委員会総会	第6回大会開催決定、第6回大会基本計画、H30補正予算等
H31年2月22日(金)	H30 企画推進会議(第4回)	第6回大会開催要項、予選審査・選考方法等
H31年2月28日(木)	第6回大会の開催日決定	第6回大会の日程及び開催要項公表
H31年3月及び4月	実行委員会(書面会議)	H31年度収支予算及びH30年度収支決算
H31年3月～	第6回参加募集チラシ、ポスター等の送付	・全国の高等学校、特別支援学校等、各都道府県、政令指定都市、手話言語条例制定自治体、各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体、県内各市町村等
令和元年5月20日(月)	参加申込み受付開始	
令和元年7月5日(金)	参加申込み期限	
令和元年7月8日(月)	R1 企画推進会議(第1回) 情報保障コーディネイトチーム会議(第1回)	第6回大会実施計画等
令和元年7月19日(金)	予選審査動画の提出期限	
令和元年8月1日(木) 8月2日(金)	予選審査会 結果発表	動画審査、結果発表、本大会演技順番・選手宣誓チームの決定
令和元年8月30日(金)	ヒアリングシートの提出	演技内容の詳細(シナリオ・楽曲等)の報告
令和元年9月2日(月)	R1 企画推進会議(第2回) 情報保障コーディネイトチーム(第2回)	予選審査結果、第6回大会実施計画、等
令和元年9月11日(水) ～13日(金)	高校生ボランティア説明会	11日:西部地区、12日:東部地区、13日:中部地区
令和元年9月27日(金)	第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園会場設営	とりぎん文化会館
令和元年9月28日(土)	第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	リハーサル:とりぎん文化会館 梨花ホール 交流会:ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間
令和元年9月29日(日)	第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	とりぎん文化会館 梨花ホール
令和元年11月8日(金)	R1 企画推進会議(第3回) 情報保障コーディネイトチーム会議(第3回)	第6回大会開催結果の報告、第7回大会開催案の検討等
令和2年1～2月	R1 実行委員会総会	第6回大会開催結果の報告 第7回大会開催決定、第7回大会基本計画、等
令和2年2月	R1 企画推進会議(第4回)	第7回大会の開催要項、予選審査・選考方法等

※第7回大会については令和2年秋(9月～10月)に倉吉市内で開催予定
開催日等については、実行委員会総会で決定予定